

第4回 うしおだグループと市民の健康サポート教室を開催



1月28日（月）、ココファン横浜鶴見にて、汐田総合病院稲葉秀子副院長が、「**知っておきたい脳卒中・心臓病予防**」をテーマに講演しました。教室には、110人の市民が参加し、会場はほぼ満席となりました。参加者からは、「健康診断が毎年必要であると改めて思った」、「きめ細かい説明とてもわかりやすかった」などの感想が寄せられました。また、当院療法士による「血管ぐーんと伸びるストレッチパートⅡ」を行い、参加者は、それぞれのペースで、「川の流れるように」の曲に合わせて、ストレッチ体操を行いました。「ストレッチ体操は自宅で家族と一緒に続けます」と、積極的な感想（宣言）もありました。

次回の健康サポート教室は、「**オーラルフレイル予防**」をテーマに、汐田総合病院歯科・口腔外科医師時崎洋科長が講演する予定です。次回もぜひご参加ください。



おひさせ サルビアねっとが始まります

鶴見区内を中心とした医療機関・介護施設などで情報共有する「**サルビアねっと**」がいよいよ始まります。具体的には参加施設の複数の病院を受診している際に、持病や処方薬の情報を各病院の医師がすぐに確認でき、薬や検査などの重複を防ぐことができます。また救急搬送時にも同じ情報が共有されます。申し込み制になりますのでうしおだグループの病院診療所はじめ、済生会横浜市東部病院、佐々木病院等、参加施設を利用中の皆さまはぜひお申込みください。



水道の民営化・広域化を考える

毎日、使う水について考える機会を与えてくれる書。鉄道や電気など民間の力が導入されたものはこれまでもあるが、今、水道も民営化や広域化が画策されている。水道法「改正」案である。水道管の老朽化、関係職員の高齢化、人口減による需要減などの背景はあるものの、世界的には民営化から再公営化への流れがあることも見過ごせない現象だ。何気なく手にしているペットボトルの水も実は複雑な事情を背負っている



尾林 芳匡・
渡辺 卓也 著

スタッフ一言

年がかわると、一つ歳をとる。元気シニアの活用は大きな課題だが、70歳まで年金が支払われず、働かなくては食べていけない社会がいいとも思えない。定年延長は単純な延長ではなく、役職定年制や賃金体系の再編を要する。これからシニアになっていく50代やその世代を支えていく40代にとってはわが身に降りかかる大きな課題だ。プレシニアの過ごし方が、シニアになってからの暮らしを左右する。人生100年時代の老後設計は難しい。Y

メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます

- ・**汐田総合病院** 会場：ラウンジぴゅあ（病院2階）
3月14日（木） 4月11日（木） 14:00-16:00
- ・**うしおだ診療所** 会場：友の会汐田・向井町支部事務所
3月14日（木） 4月11日（木） 13:30-15:30

